

部活動

運動部

■硬式野球部

一昨年の夏の大会、9回2アウトからの逆転サヨナラ負け。この試合以降、チーム訓として「この一球」を掲げ、高校3年生を中心に夏の大会の勝利をめざして、限られた環境の中で日々練習に励んでいる。



■軟式野球部

「強いチームになりたい」と全員で切望しながら短い練習時間を大切に活動している。活動場所は学校近くを流れる吉井川の河川敷グラウンド。その行き帰り合計20分の移動時間は、部の荷物の運搬や友人との野球談義の時間となり、チームのまとまりを作ることにも貢献している。その他にもグラウンド整備や挨拶やプレー中の声出しなど「チームの中の自分」を意識して行動する機会が多いので、気持ちの面での成長は3年間で著しい。しかし勝率は未だ5割を下回るため、安定した高い技術をさらに上乘せし、「気持も野球も本当に強いチーム」を目指したい。

■卓球部

限られた場所で多くの部員が技術向上に努めている。中学部・高校部共に県大会等の試合で日頃の成果を発揮し、健闘している。

■テニス部

部員数が多く、活動場所が限られている中で、毎日練習に励んでいる。

春や夏の休暇には、備前の施設を借りて強化練習も行っている。テニスを愛する部員が多い。中学部では、女子団体が、平成15、16年と連続して中国大会に出場した。高校部でも、平成15年度に女子が個人シングルスで中国大会に出場、16年度には男子が個人ダブルスで中国大会に出場した。

■バスケットボール部

中学部・高校部に分かれて練習を行っている。男子・女子ともに熱心に活動し、県大会出場も何度も果たしている。さらなる向上を目指し、日々努力を積み重ねている。

■バレーボール部

中学の男子、女子・高校の男子、女子という4つの部で、1面のコートを使用し、ネットの高さも4つの部共に違うという状況の中、しかも短時間の練習というハンデをなんとか乗り越え、県大会出場を目指しがんばっている。平成16年には高校男子が備前地区3位(岡山東商、玉野光南につづく)とよく健闘した。

■サッカー部

限られた場所と時間の中で、日々練習に励んでいる。ここ数年、あと一步で県大会出場というところまで来た。少ない部員数ではあるが、チーム一丸となり、勝利へ向けて努力している。

■陸上競技部

平成17年の岡山国体で、井上裕太君が少年B200Mで第5位入賞(県新記録)・リレーにおいても第5位入賞(県新記録)と全国レベルの活躍、平成16年には県高校総体でリレーでの中国大会出場・地区総体での4連覇、地区女子駅伝での優勝等、実績を上げている。

■柔道部

昭和53年創部以来、中学、高校共に短い練習時間の中で、集中した稽古で心身の鍛錬を目的とし、「文武両道」を目指し日々精進している。中学部においては、昭和61年の団体全国大会出場を含め、県大会団体優勝4回、平成16年には中国大会において3位入賞を果たしている。個人では5名の全国大会出場者をはじめ、多数の上位入賞者を輩出している。高校部は、平成5年より7年連続中国大会出場と常に県の上位に進出し、平成9年には遂に念願の団体優勝を果たし、全国高校柔道選手権に出場した。しかし、ここ7年間は惜しいところでもう一つ壁が破れず、ベスト4から遠ざかっている。個人では8名の全国大会出場者を輩出。中でも平成5年の坂口哲也君、平成9年の西田清二君、小山邦夫君は全国大会においても見事予選を突破し、優秀選手となった。



■剣道部

中学生と高校生が心と技を鍛えるために稽古に日々励んでいる。近年は高校男子団体戦で県大会出場を決めるなどの戦績も残しているが、中国大会男子個人出場者や、県大会ベスト16の成績を残した先輩方に追いつき追い越すことを目指している。